

ASABA

電動アシスト付除草エース

EP-25WADX1

取扱説明書

目 次

1	安全のために必ずお守りください	1
2	梱包部品一覧	3
3	末永くご使用いただくための重要事項	3
4	製品に貼付されたラベルとその取り扱い	4
5	各部の名称	4
6	仕様	5
7	作業を始める前に	7
	7-1：部品の取り付け	
	7-2：後輪幅の調整	
	7-3：噴口の調整	
	7-4：サイドカバーの調整	
	7-5：バッテリー装着・取り外し	
	7-6：アシスト走行の操作	
	7-7：ボールコックの取り扱い	
	7-8：排気方向の調整	
	7-9：薬液の調合、充填	
	7-10：燃料の充填	
8	バッテリー・充電器の取り扱い	19
9	作業	22
	9-1：作業の前に	
	9-2：作業開始	
10	整備と長期保管	25
11	故障と対策	27
	11-1：ポンプ	
	11-2：エンジン始動不能、または始動困難	
	11-3：エンジンの回転不調、または出力不足	
	11-4：エンジン運転中に停止する	
	11-5：エンジン停止が困難	
	11-6：電動アシスト関連	

⚠ 危険・警告

ご使用前に、必ず取扱説明書をよく読んで正しく作業してください。
取扱説明書の指示内容を守ってください。
守られなかった場合は、死亡または重傷事故を起こす恐れがあります。



本社／〒381-8530 長野市北長池1443-2
TEL：026-244-1317
URL：https://www.asaba-mfg.com

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

この取扱説明書には、安全に使用していただくための要点を記してありますので、ご使用前に必ずよくお読みになり、正しくご使用ください。お読みになった後は、いつでも読める場所に保管してください。また、本書を汚損したり紛失した場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、大切に保管してください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルは、人身事故等の危険が考えられる重要な項目です。よくお読みになり、必ずお守りください。また、 の表示のあるラベルが汚損したりはがれた場合は、お買い上げの販売店にご注文いただき、必ず所定の位置にお貼りください。

本書に記載した  の表示のある注意事項や、機械に貼られた  の表示のあるラベルでは、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、次のように3段階に分けて表示しています。

 危険	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになります。
 警告	●その警告文に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があります。
 注意	●その警告文に従わなかった場合、けがを負う恐れがあります。

尚、製品の故障や損傷につながる使い方に関する注意事項については、取扱説明書、機械に貼られたラベルともに、**重要** の表示を用いています。

本書に記載した図記号は、お守りいただく内容を説明しています。

 禁止（してはいけない）内容	 指示（必ず実行する）内容
---	--

1 安全のために必ずお守りください

★作業前

 危険		●火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。
		●燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。
		●燃料補給時は、火気に充分注意してください。
		●高温部に燃料がかからないように補給してください。
		●燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れないでください。
		●燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。
		●燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
		●燃料、薬液を充填後、本機を傾けると燃料、薬液が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。
		●燃料、薬液を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料、薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料、薬液を抜いてください。
		●燃料、薬液がこぼれたり、本機が転倒する恐れがありますので、本機は凹凸のない平らな場所に設置してください。
		●感電の恐れがありますので、屋内の水気のない場所で充電してください。
		●濡れた手で充電器を取り扱わないでください。
		●純正のバッテリー、純正の充電器以外は、絶対に使用しないでください。

 注意	 ●次に該当する方は、この製品を使用しないでください。 ◎酒気をおびた者 ◎過労、病気、薬物（農薬を含む）の影響その他の理由により、正常な防除作業ができない者 ◎妊娠中の者 ◎満15歳未満の者 ◎負傷中の者、生理中の女性等農薬による影響を受けやすい者
	 ●作業前に燃料に漏れがないこと、接続部のパッキンに脱落がないこと、各ネジ部にゆるみがないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等各部に異常がないことを確認してください。
	 ●安全性を損なう恐れがありますので、改造しないでください。
	 ●この製品を他人に貸与、または、譲渡する場合は、必ず取扱説明書を添付し、よく読んでから使用するように指導してください。
	 ●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
	 ●操作の前には必ず操作点検を行い、異常個所がないか事前に確認を行ってください。

 警告	 ●アルミ合金は電気を通します。感電事故に注意してください。
---	---

重要	●お買い上げ後や使用前は必ずバッテリーの充電を行ってください。（詳しくは、P.19【8-2：充電のしかた】をお読みください。）
-----------	---

★農薬・薬液の取り扱い

 注意	 ●防除、除草用の農園芸用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
	 ●やけど、火災の恐れがありますので、強酸性の薬品・塗料・シンナー・ガソリン・灯油・ベンジン等は、絶対に使用しないでください。
	 ●調合が適切でない薬液は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になる恐れがあります。薬液調合の際は、薬液の使用上の注意をよく読み、正しく希釈してから使用してください。
	 ●農薬は、必ず専用の保管箱に鍵をかけて保管し、絶対に食品や食器とは一緒に保管しないでください。
	 ●農薬は、誤使用、誤飲の危険がありますので、絶対に別の容器に移し替えないでください。
	 ●農薬の空容器は、散布液調合時に必ずよく洗い、薬品メーカーの指示に従って、その都度正しく処分してください。空容器を洗った水は、薬害のない方法で処分してください。

★作業中

 警告	 ●薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
	 ●ハウス内での使用は人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。
	 ●運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどを恐れますので、不用意に触れないでください。
	 ●雨天や車輪が水没するような場所でのご使用は危険ですので控えてください。ご使用中に雨に見舞われた際は、速やかに電源をOFFにして移動し、雨の当たらない場所で、電動アシスト部にかかった水分を拭き取ってください。

★作業後と保管



危険



●本機にセットしたまま充電する際は、電源をOFFにしてください。
充電中に電源をONにしないでください。



注意



●作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。



●余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。



●前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。



●使用後は本機を充分清掃し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。



●エンジンを止めても、ポンプ～ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ボールコックを開いて、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。

2

梱包部品一覧

最初に梱包部品が全部そろっているかどうか、輸送中の事故で破損している部品がないかを確認してください。もしも、欠品や破損などありましたら、製品名・型式・製造番号と共に買い上げの販売店にお知らせください。

製品名：電動アシスト付除草エース			型式：EP-25WADX1		
品 名	数 量	備 考	品 名	数 量	備 考
本体部一式	1		吊り下げノズル動力用 2頭口	1	
スーパー25 動力用ノズルチップ	2	青	ノズルパイプ	1	
吐出ホース	1		エルボ	1	
サイドカバー	2		ハンドル	1	
後輪	2		カラー（後輪用）	2	
トラスネジM8x75	2		六角ボルト組込M8x25	4	
平座金8.5×18	4		平座金8.5×25	6	
バネ平座金 8	2		ナット M8	6	
取扱説明書	1	本 書	保証書	1	本 書 末 頁
(電動アシスト部品梱包)					
タイヤ付インホイールモーター	1		コントローラー	1	
LCDメーター・取付金具付	1		充電器	1	
バッテリー	1		バッテリーケース	1	
バッテリーケース キー	2		バンド金具	1	
モータ軸ガイド	2		フランジナットM5	2	
ナベ小ネジM5×15	2		インシュロック	8	
ボルトキャップ(穴有無各1ヶ)	2				

※保証書はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

3

末永くご使用いただくための重要事項

本製品を末永くご使用していただくため、次の項目をお守りください。

重要

1. 使用前には充電してください。
2. バッテリー残量1(緑1)以下で保管しないでください。
3. 電動、エア工具を使用しないでください。

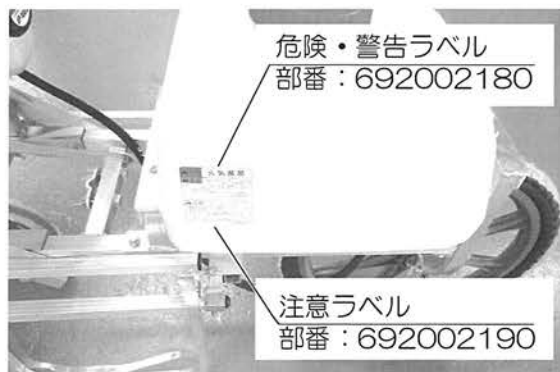
※充電のしかた等は、P.19【8-2：充電のしかた】をお読みください。

※3ヶ月以上の長期保管する時は、P.25【(5) 長期保管】をよくお読みください。

4

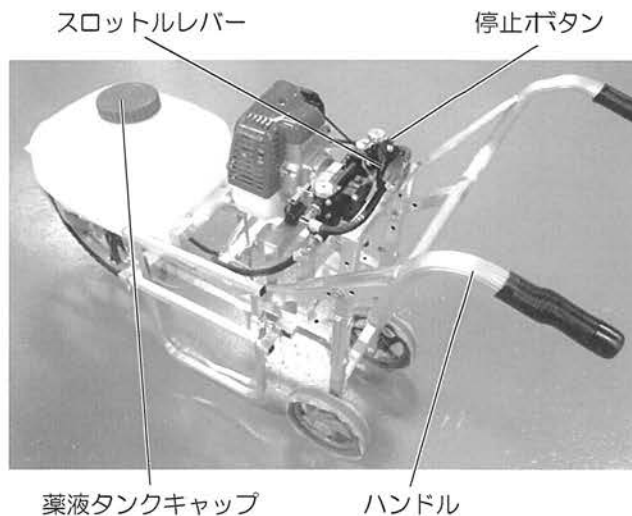
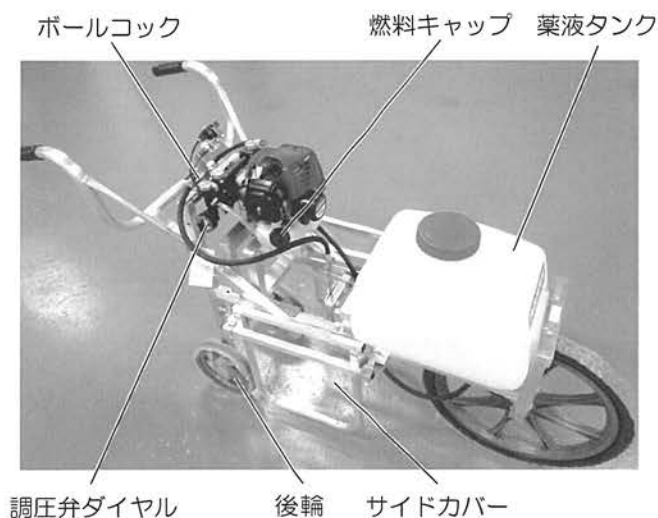
製品に貼付されたラベルとその取り扱い

- ラベル部はいつもきれいにし、傷つけないようにしてください。
- ラベルが汚損したり、はがれた場合は、お買い上げの販売店にラベル品番とともに注文し、新しいラベルに貼り替えてください。
- 新しいラベルを貼る場合は、汚れをふき取り、乾いた面にして、元の位置に貼ってください。

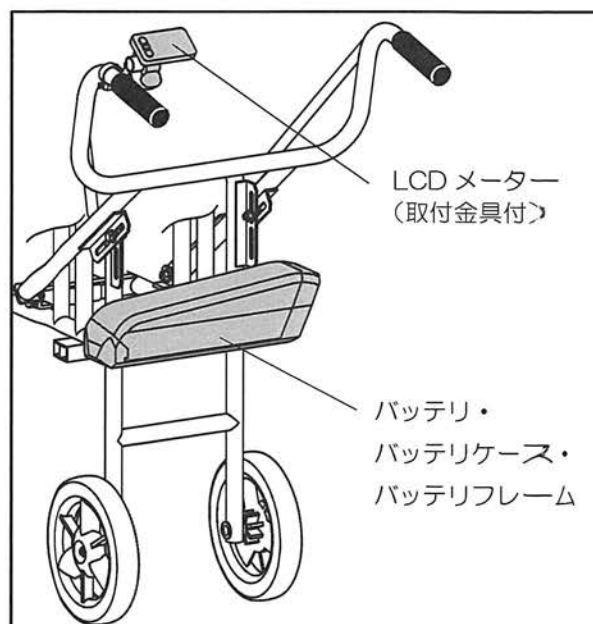
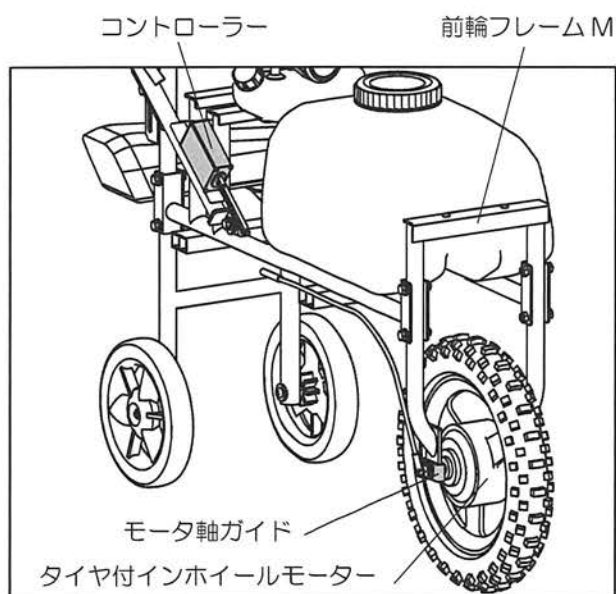


5

各部の名称



<電動アシスト部>



本体寸法	全 長	1300 ～ 1410mm (ハンドル高さ調整による)
	全 高	830 ～ 950mm (ハンドル高さ調整による)
	全 幅	510mm (サイドカバー無し)
質 量		23kg
タンク容量		25ℓ
ポンプ	形 式	対向2連プランジャ式ポンプ
	吸 水 量	7.0ℓ/min (1740rpm 圧力：0MPa時)
	最高圧力	2.5MPa
エンジン	燃料タンク容量	0.65ℓ
	使用燃料	混合ガソリン (混合比25：1 JASO FC級) (混合比50：1 JASO FD級)
	エンジン型式	ASABA D26C 空冷2サイクル
	エンジン排気量	25.6cc
	キャブレタ	ダイヤフラム式 ロータリバルブ
	最 高 出 力	0.74kW (1.0PS) / 7500rpm
	点 火 方 式	フライホイールマグネット
	スパープラグ	チャンピオン CJ6Y (NGK BPM7A 相当品)
始 動 方 式		アシスト式リコイルスタータ
タイヤサイズ		2.50-10 33J (ブロックタイヤ)
モーター形式		インホイールモーター
定 格		36V 250W
走 行 速 度		～5 km/h
アシストレベル		5段階 (最高速度レベル切替)
オートスリープ		5分
過放電保護		有り
過電流保護		有り
連続運転時間		約4時間
バッテリー	型 式	リチウムイオン蓄電池 (E A004L 29H-S S E074)
	公 称 電 圧	DC36.7V
	公 称 容 量	11.4Ah
	質 量	2.5 kg
	機 能	過充電・過放電防止
充電器	型 式	リチウムイオン蓄電池用充電器 (D P L C084V42Y)
	入 力 電 源	AC100V 50/60Hz
	出 力 電 圧	42VDC
	出 力 電 流	2A
	充 電 時 間	約6.5時間
作動温度範囲		5～40℃
バッテリー残量表示		LED表示
用 途		除草を目的とした一般農薬及び常温清水の散布

※1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

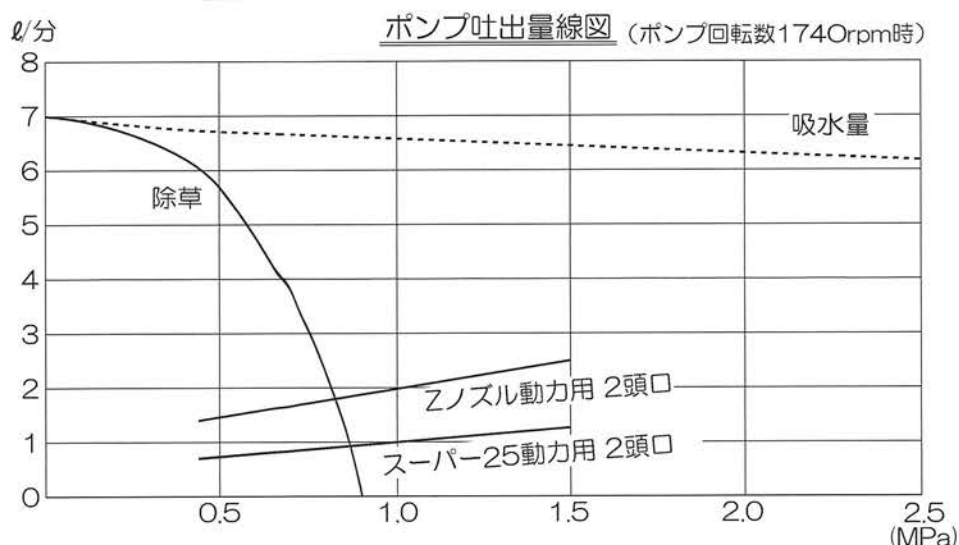
※2) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

噴 口	吊り下げZノズル 2頭口	スーパー25動力用 2頭口
吐 出 量	1.8ℓ/min	0.9ℓ/min
散 布 幅	～800mm (サイドカバー有り) ～1200mm (サイドカバー無し)	～800mm (サイドカバー有り) ～1200mm (サイドカバー無し)
歩 行 速 度 (100ℓ/10a)	散布幅800mm：1.4km/h (23m/min) 1200mm：1.0km/h (17m/min)	
歩 行 速 度 (50ℓ/10a)	散布幅800mm：2.7km/h (45m/min) 1 2 0 0mm：1.8km/h (30m/min)	
歩 行 速 度 (25ℓ/10a)	散布幅800mm：— 1 2 0 0mm：3.6km/h (60m/min)	散布幅800mm：2.7km/h (45m/min) 1 2 0 0mm：1.8km/h (30m/min)

※ 1) 上記の性能値はテスト値であり、保証値ではありません。使用環境により、その値は変化します。

※ 2) 改良のため、予告なく仕様を変更することがあります。

＜ポンプ及びノズル性能表＞



本機には2種類のノズルチップを標準付属としています。下記を参照して用途にあったノズルチップを選定します。

① Zノズル動力用 ノズルチップ(赤)

多量散布除草剤 (バスタ[®]、ザクサ[®]、ブリグロックス[®]L等) 専用噴口です。

噴口に標準に組付いています。

吐出量：約1.0ℓ/min (1.0MPa時、1頭口あたり)

② スーパー25 動力用 ノズルチップ(青)

少量散布除草剤 (ラウンドアップ[®]、タッチダウンIQ[®]、サンフーロン[®]等) 専用噴口です。

吐出量：約0.5ℓ/min (1.0MPa時、1頭口あたり)

※上記の値は、本機使用時の当社テスト値であり保証値ではありません。吐出量は使用環境により変化します。

※「スーパー25 動力用」のご使用には、噴口に標準で取りついている「Zノズル 動力用 ノズルチップ」を外して、付け替える必要があります。(ノズルチップの付け替えはP.9「ノズルチップの付け替え」を参照してください。)

重要

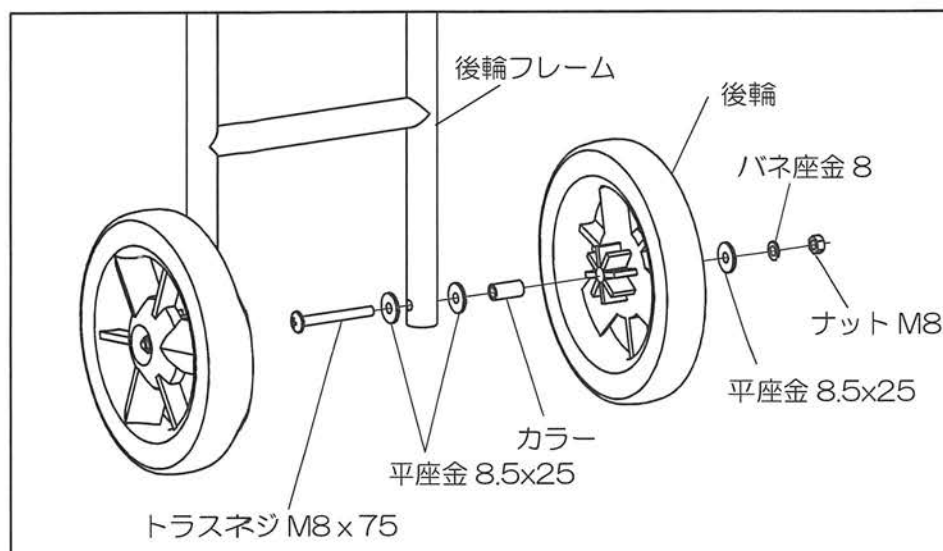
●付属の噴口で作業を行う場合は、必ず調圧弁ダイヤルを「除草」にして散布作業を行ってください。

7 作業を始める前に

7-1: 部品の取り付け

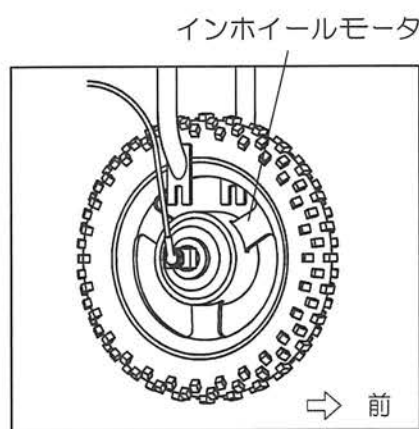
(1) 後輪取付

- ①トラスネジに平座金を通し、後輪フレームの内側から通し、平座金、カラーを通します。
- ②後輪をカラーに通し、平座金、バネ座金、を通し、ナットで固定します。

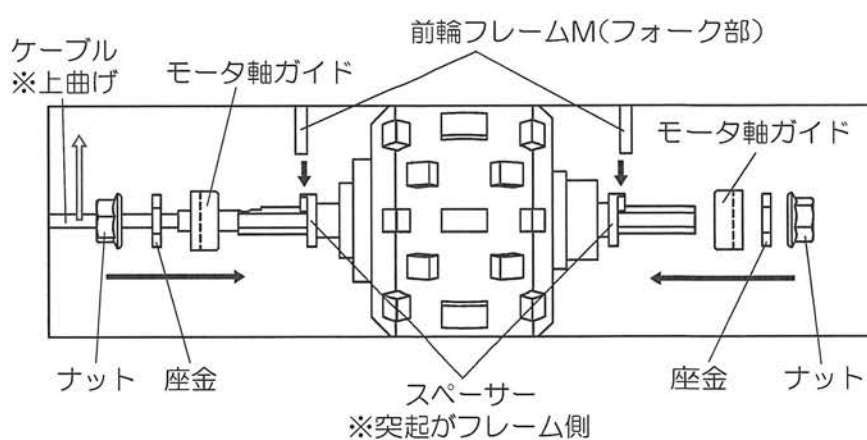


(2) インホイールモーター取付

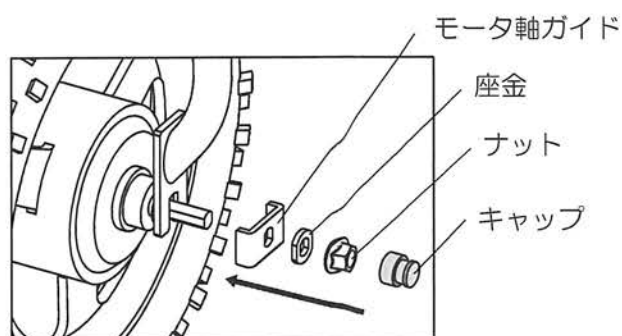
- (1) 本体前方から見てケーブルが左側上方向となる様にインホイールモータを向けます。【図 1】
- (2) 前輪フレームMのフォーク部をスペーサーとモータ軸ガイドの間にセットし、ナットを締め込み固定します。【図 2・3】
- (3) モーターを固定したナットにキャップを取り付けます。(ケーブル側は通し穴付キャップを使用) 【図 3・4】



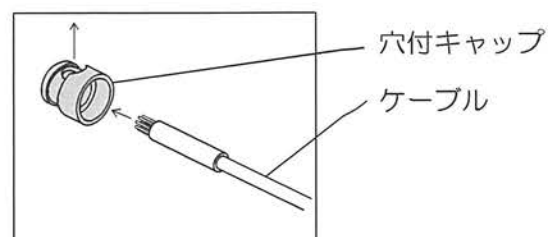
【図 1】



【図 2】 (正面より)



【図 3】 (斜視)



【図 4】

(3) ハンドル取付

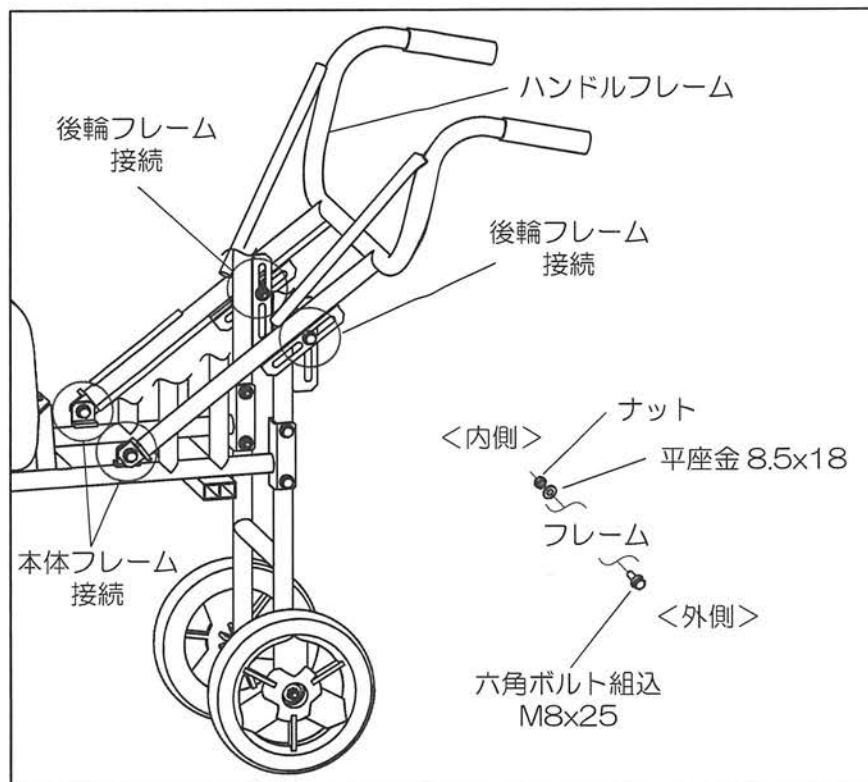
①ハンドルフレームと本体フレームに組込ネジを外側から通し、平座金、ナットを通し取付ます。

【図1】

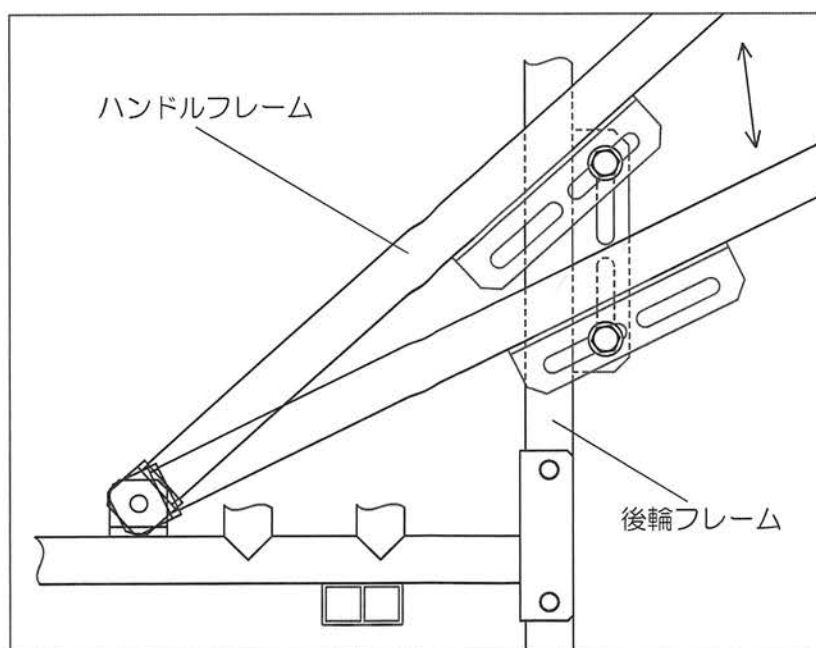
②ハンドルフレームと後輪フレームを組込ネジを外側から通し、平座金、ナットを通し取付ます。

ハンドルフレームの上下長穴と後輪フレームの上下長穴の組合せでハンドルの高さをお好みに合わせ、取付ます。

【図1, 2】



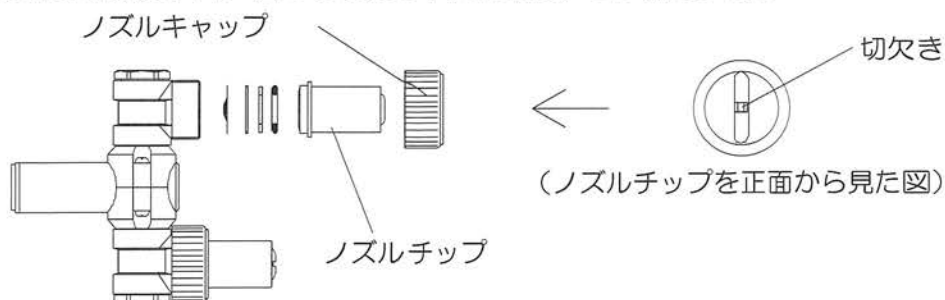
【図1】



【図2】

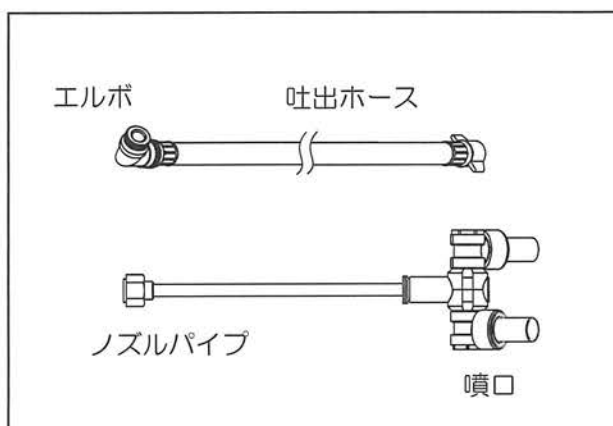
(4) ノズルチップの付け替え（作業に合わせたノズルの選定）

噴口には「Zノズル動力用 ノズルチップ（赤）」（多量散布用）が2個標準で組付いています。
その他に「スーパー 25 動力用 ノズルチップ（青）」を2個付属していますので、少量散布を行いたい場合は、下図のように噴口からノズルキャップを外して、ノズルチップを付け替えて使用します。
（各種ノズルの性能は、P.6《ポンプ及びノズル性能表》を参照します。）

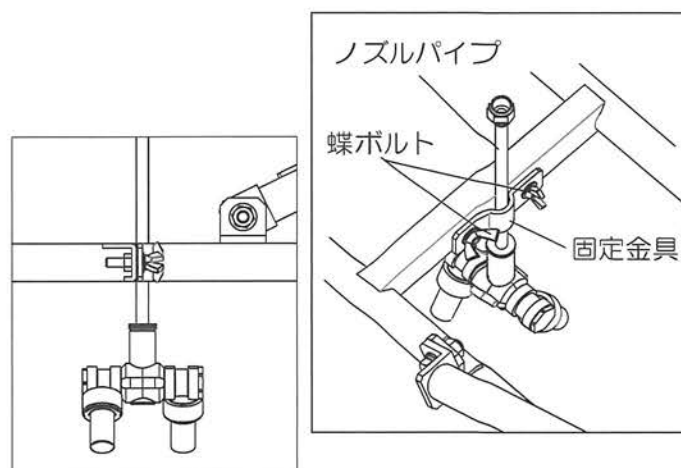


(5) 噴口の取り付け

①付属の噴口とノズルパイプ、エルボと吐出ホースを組み合わせます。

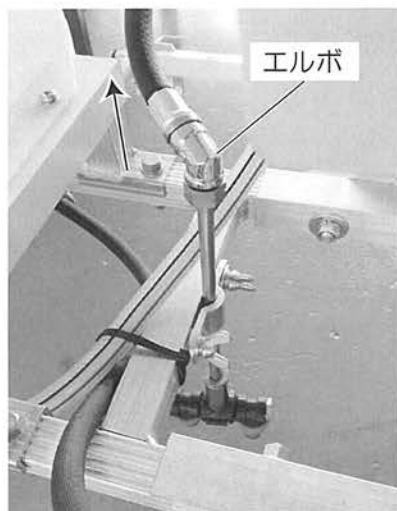


②下図のように本機と金具の間にノズルパイプ部を挟み込んで、蝶ボルト2本を締め込んで固定します。

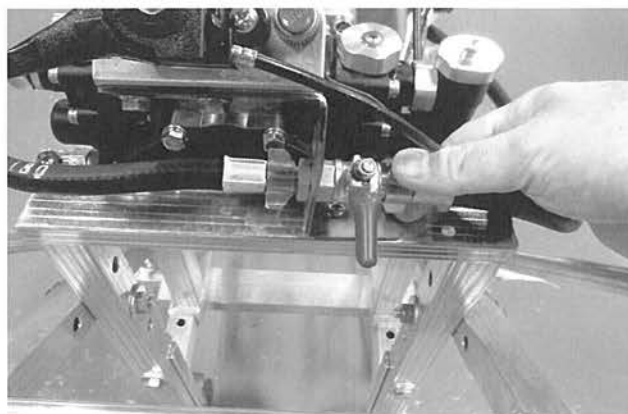


※噴口の向きは本機と平行となるように注意します。

③吐出ホースがエンジンに当たらない方向に向け、エルボとノズルパイプのナットを接続します。



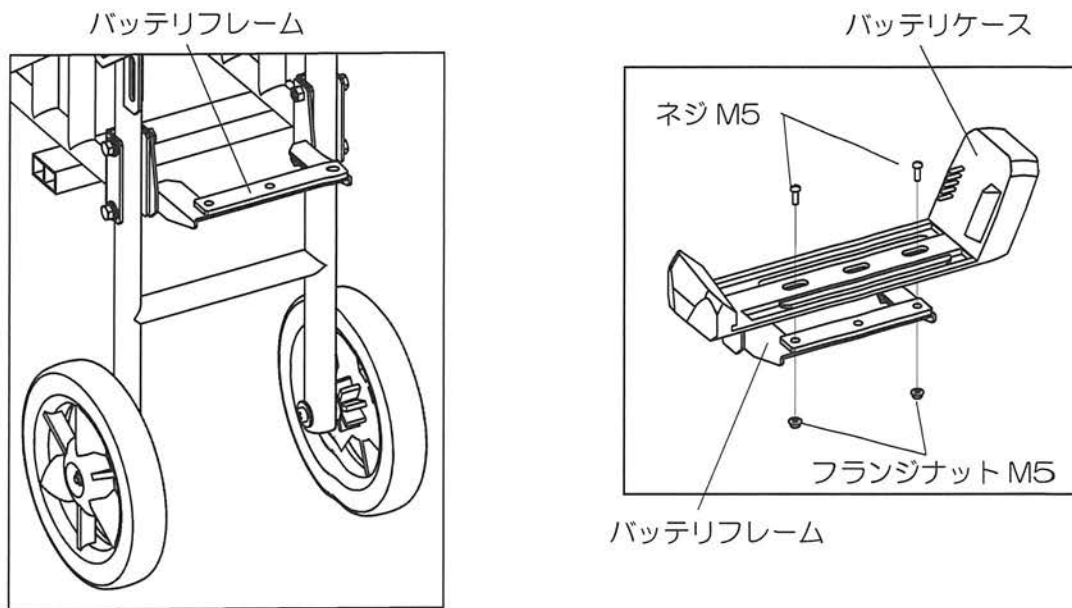
④吐出ホースのメネジを本機のボールコックに接続します。



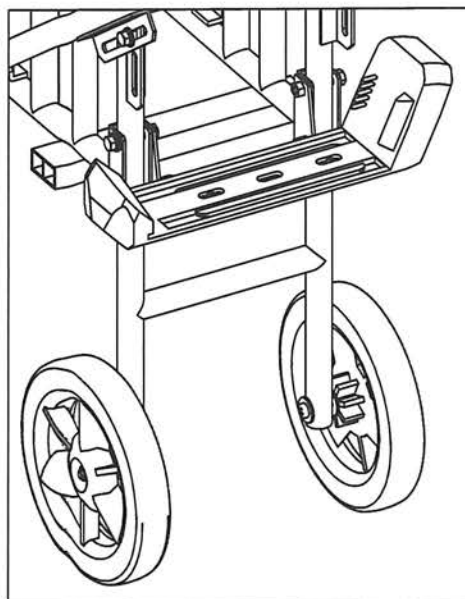
(6) バッテリーケース取付

バッテリーケースを下図の向きでバッテリーフレームにネジ (M5×15) とフランジナット (M5) で固定します。(左右2ヶ所)【図 1、2】

※バッテリーケースキーが回せる位置であることを確認します。(P.13 参照)



【図 1】

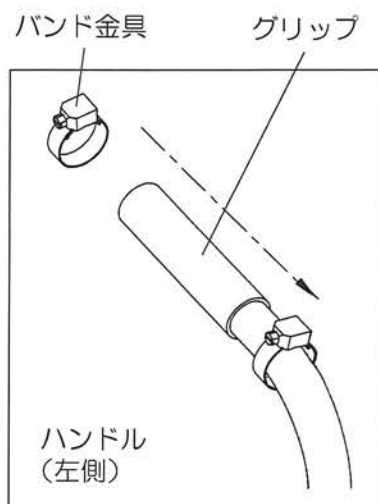


～ バッテリーケース取付完了 ～

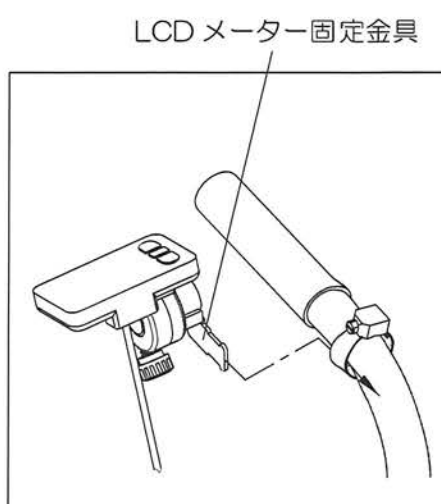
【図 2】

(7) LCD メーター取付

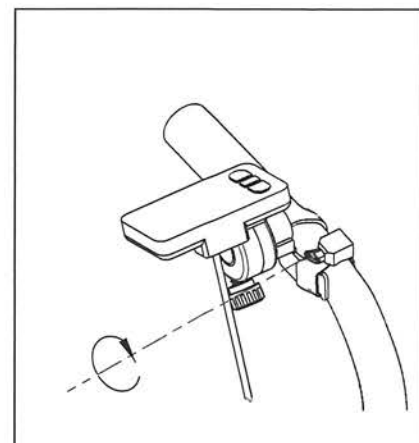
- (1) 左側ハンドルのグリップにバンド金具を通します。【図1】
 - (2) バンド金具のハンドル内側に LCD メーター固定金具の先を通します。【図2】
 - (3) スロットルレバーが操作し易い位置で、バンド金具を締め込み、LCD メーター固定金具をハンドルにしっかり固定します。【図3】
- ※LCD メーター固定金具がグリップに乗り上げないようにしてください。【図4】
- ※LCD メーター固定金具の先端がバンド金具に掛かり、抜けないようにしてください。【図5】



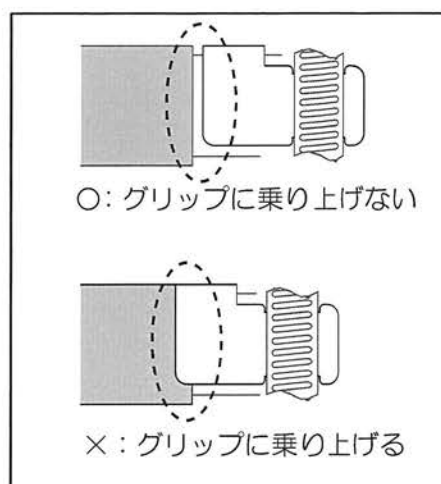
【図1】



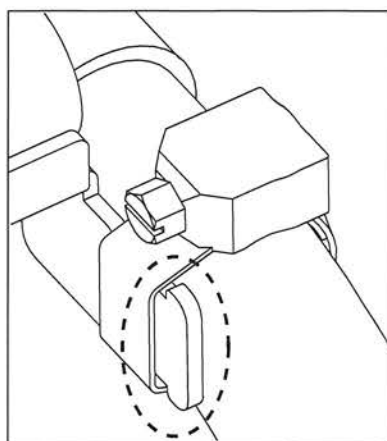
【図2】



【図3】



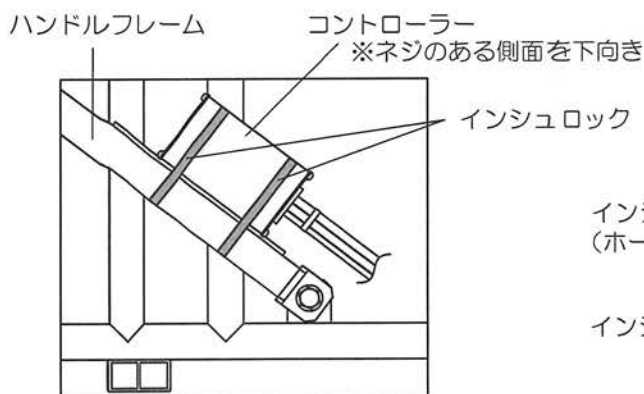
【図4】



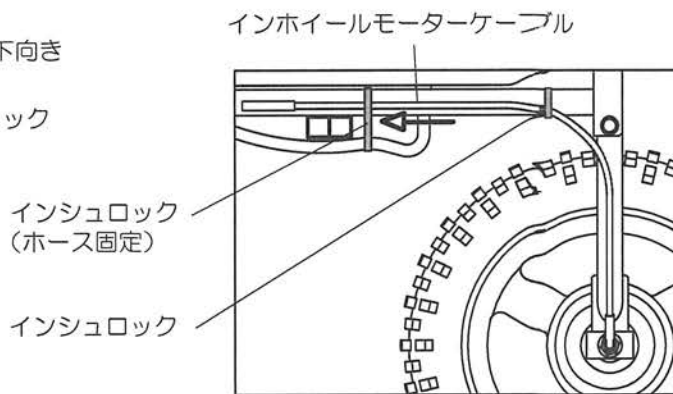
【図5】

(8) コントローラー取付・配線

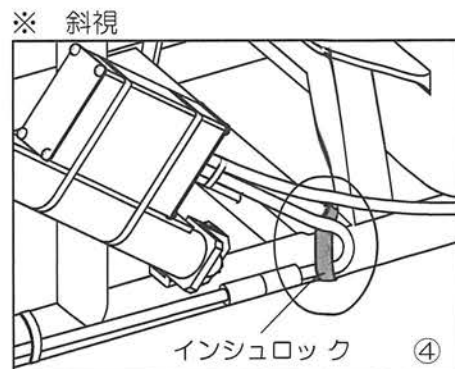
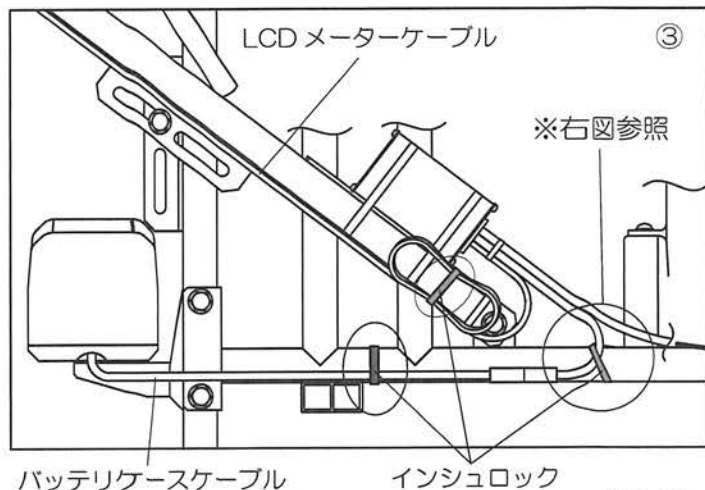
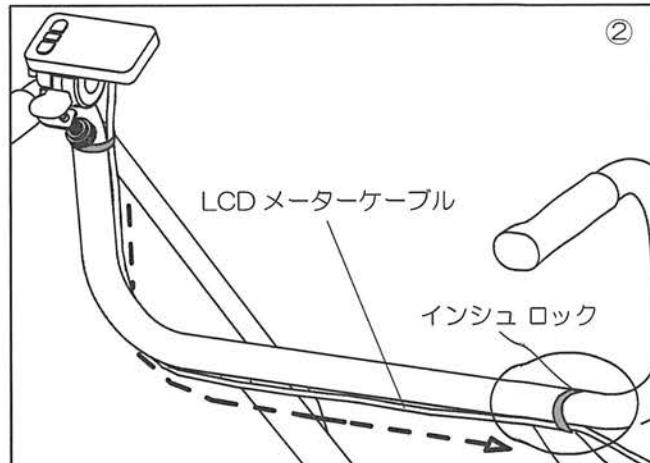
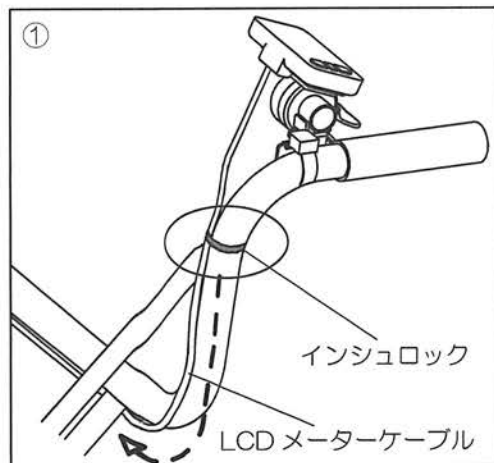
- (1) コントローラーを右ハンドルのフレームの板上面にインシュロック (×2) で仮固定します。【図1】
 ※コントローラー側面のネジのある側面を下向き (フレーム側) にしてください。
 ※(2) (3) を配線後、コントローラーの位置を調整し固定します。
- (2) コントローラーのケーブルと、インホイールモーター、LCD メーター、バッテリーケースの 各ケーブルの矢印マークを合わせ、矢印先の差込み位置の線まで挿入し、配線します。
 ※各コネクタは防水・防塵性向上の為、嵌合が固い場合がありますので、しっかり挿入してください。
 ※ホースを固定しているインシュロックにインホイールモーターのケーブルを通し配線してください。
 【図2】
- (3) 配線したケーブルをインシュロック (×6) で固定します。【図2、図3 ①,②,③,④】
 ※インシュロックがケーブルに食い込まない程度に固定してください。
 ※インシュロックの余剰はカットしてください。
- (4) (1) で仮固定していたコントローラーを配線に合わせ位置調整し、しっかりと固定してください。
 ※インシュロックの余剰はカットしてください。



【図1】



【図2】



インホイールモーターケーブル ハ

【図3】

(9) バッテリー装着・取り外し



注意



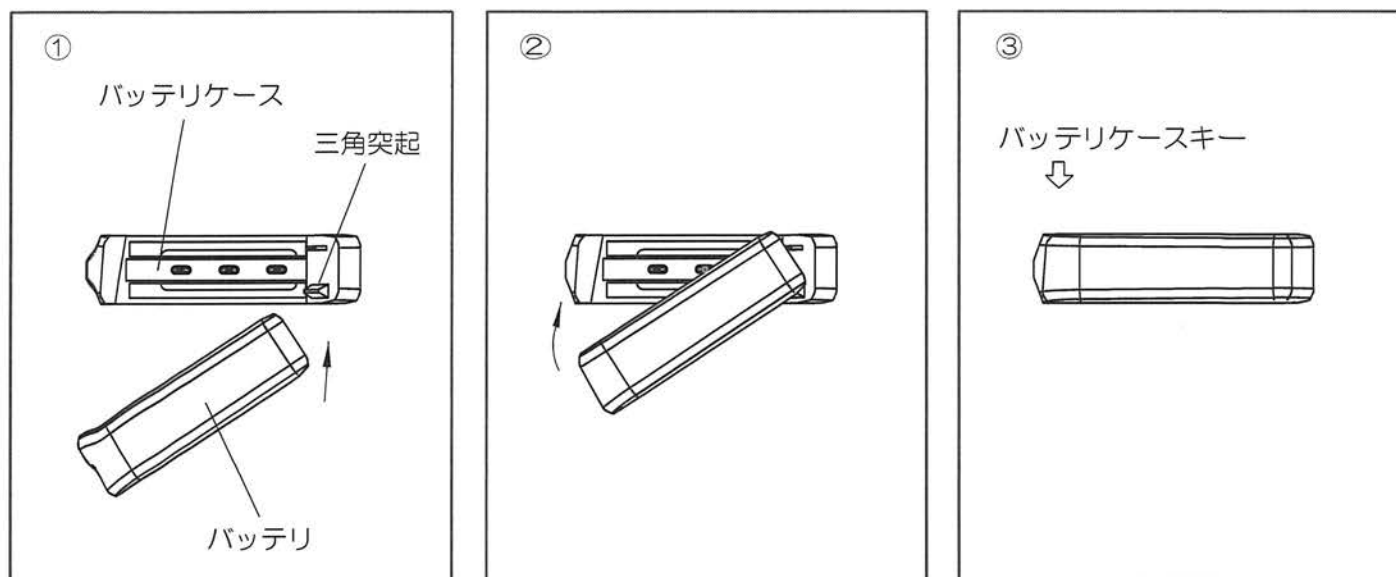
- バッテリーの装着は、必ず全ての配線を終えてから、行ってください。
- バッテリーの取り扱いは、落下させない様に十分に注意してください。

(1) バッテリーをバッテリーケースの三角突起に合わせ、回転させスライドし、装着します。

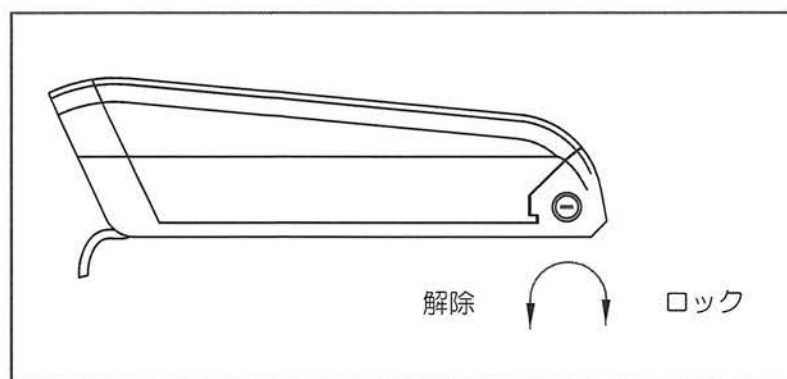
【図1①、②、③】

(2) 付属のバッテリーケースキーを使用し、バッテリーをロックします【図2】

(3) バッテリーを取り外す際は、(2)、(1)を逆の手順で取り外します。



【図1】



【図2】



注意



- バッテリーを装着後、速やかにバッテリーケースキーで、必ずロックを掛けてください。ロックを掛けないで使用するとバッテリーが落下する可能性があり、大変危険です。

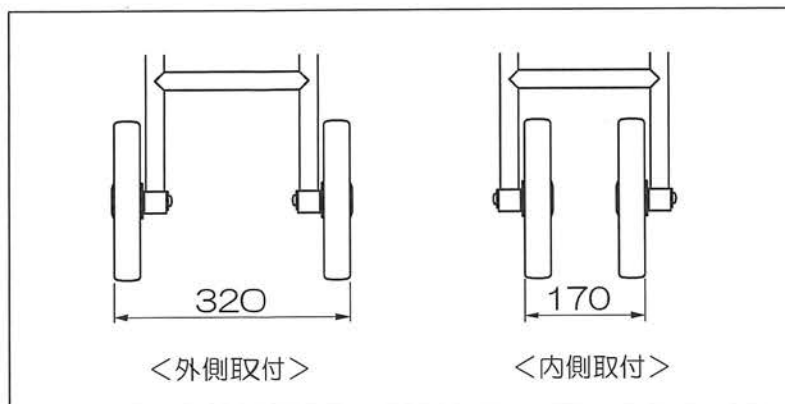
重要

- バッテリーケースキーは、バッテリーケース専用のキーとなっています。くれぐれも紛失にはお気を付けください。紛失されるとバッテリーの脱着が出来なくなります。

※バッテリーケースキーを紛失し、補用をお求めの際は、キー穴に記載の3ケタの数字を確認し、販売店へお知らせください。

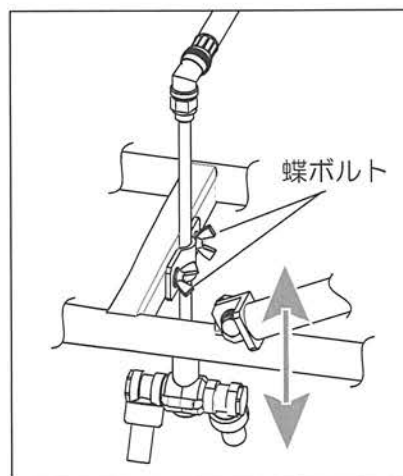
7-2：後輪幅の調整

畝幅に応じて、車輪を「外側取付」、「内側取付」で車輪幅を選択できます。



7-3：噴口の調整

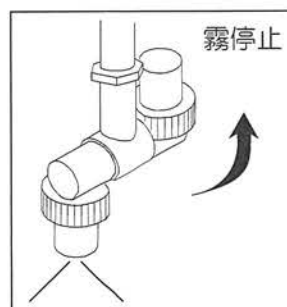
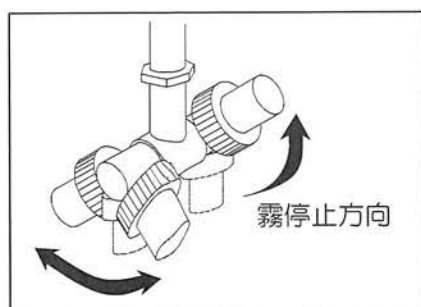
右図の2箇所の蝶ボルトを緩めると噴口の高さを変えることができます。
お好みの散布幅に調整した後、再度蝶ボルトを締め込みます。



また、噴口部からの吐出方向は、噴頭を回すことにより調整することができます。

手で噴頭の方角をお好みで調整してください。

散布幅が狭い場所など一頭口で散布の際は、噴頭を上に向けると、停止状態となり、ノズルチップから吐出しなくなります。



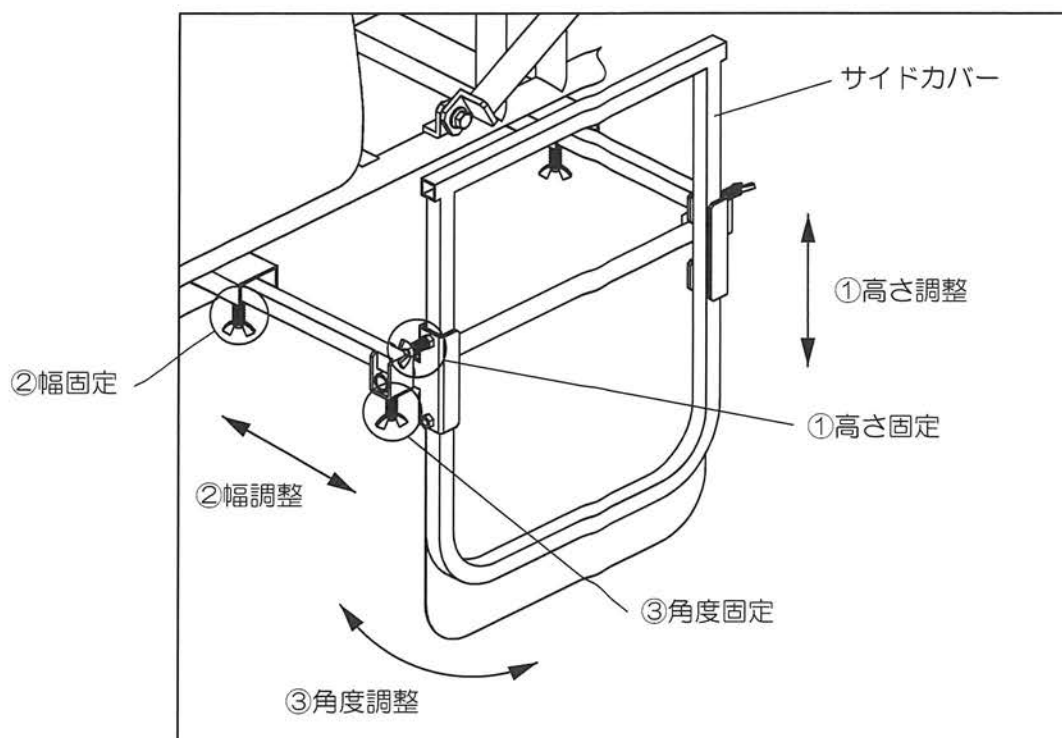
7-4：サイドカバーの調整

(1) サイドカバー調整

付属のサイドカバーを本機両側のコの字部に差し込みます。

サイドカバーをお好みの①高さ、②幅、③角度に調整した後、再度両側の蝶ボルトを締め込みます。

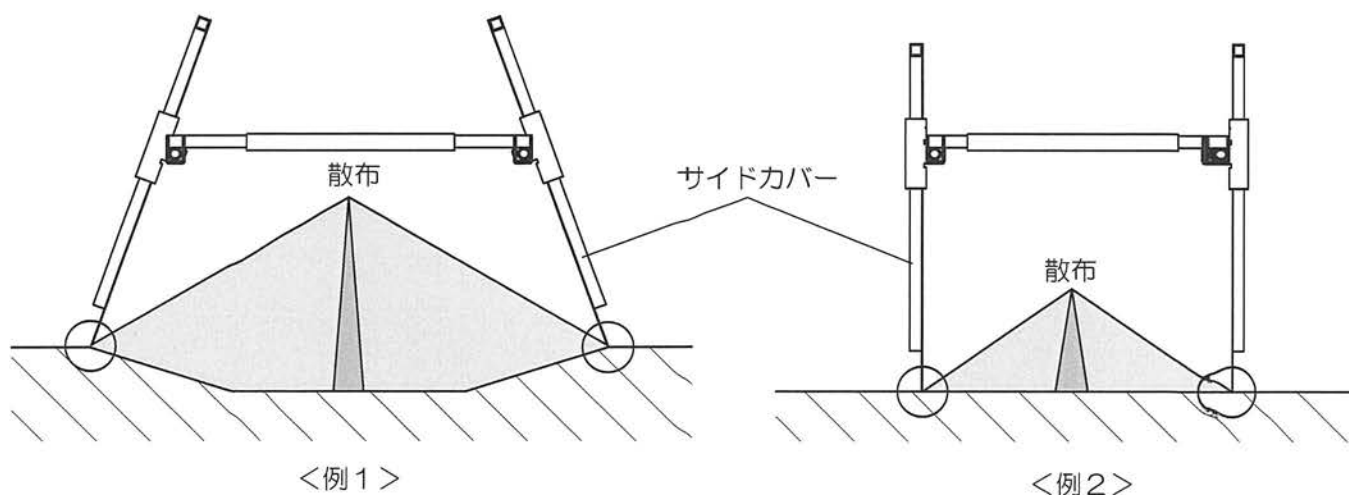
※サイドカバーを差し込む向きは、透明のカバーが内側を向くように差し込みます。



(2) サイドカバーと散布幅の調整目安

①畝幅に合わせ、サイドカバーの幅調整を行います。

②ノズルの高さと噴霧方向を調節し、サイドカバーに薬液があまりかからない様に、サイドカバー下端内側を目安に散布幅を調整してください。



注意



●作業前に各ネジ部にゆるみがないこと、接続部のパッキン、Oリングの脱落がないこと、ホースに亀裂、摩耗、破損のないこと等、各部に異常がないことを確認してください。



●安全性を損なう恐れがありますので、付属ホースは他の用途（コンプレッサでの使用等）には使用しないでください。

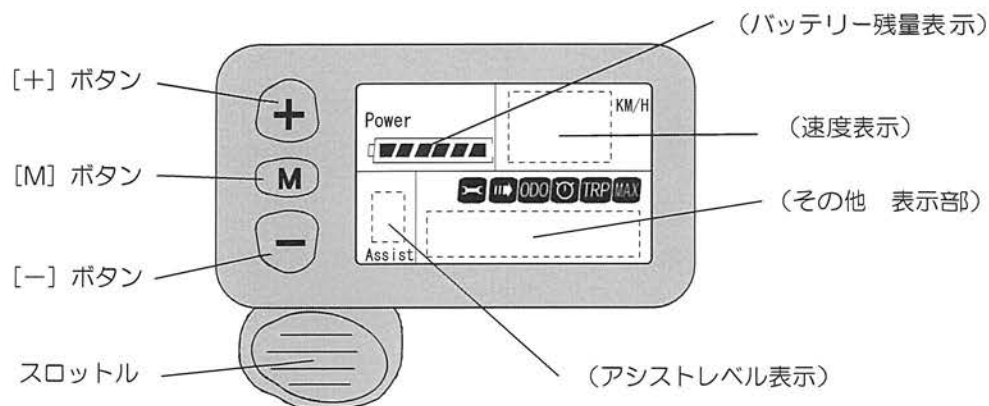


●破損の恐れがありますので、ホースを無理にねじったり、引っ張ったり、曲げたりしないでください。

7-5：アシスト走行の操作

アシスト走行の操作は、LCD メーターのボタン、スロットルを操作し、行います。

1) LCDメーター 操作部／表示



2) 電源ON/OFF

- (1) ON : [M] ボタンを1秒程度押すと、電源が入ります。
 - (2) OFF : [M] ボタンを2秒程度長押しすると、電源が切れます。
- ※ オートスリープ機能：5分間、操作を行わないと自動で電源が切れます。

3) アシストレベル（最高速度設定）の選択

アシストレベルを選択し、最高速度を切り替えます。

- (1) [+] ボタンを押すと、アシストレベルが上がります。
(最大『5』まで)
- (2) [-] ボタンを押すと、アシストレベル下がります。
(『0』は、スロットルを押しても運転しません)

※ 最低速度は1 km/hです。
速度表示は目安となり、路面状況などにより、
実際の速度と異なることがあります。

<アシストレベルの目安>

1	: 1 km/h
2	: 1 ~ 2 km/h
3	: 1 ~ 3 km/h
4	: 1 ~ 4 km/h
5	: 1 ~ 5 km/h

4) 運転

スロットルを押し込むと、アシスト走行します。

※フルスロットルで最大アシストとなります。



注意



- スロットル操作は、自動車のアクセル同様に、ゆっくり操作してください。
特にアシストレベルが高い際は、スロットルを一気に押すと思わぬ加速をし危険です。
- 初めて操作をする際は、衝突物の無い広い場所で試し運転を行い、加速感、スピード感を確認してください。



重要

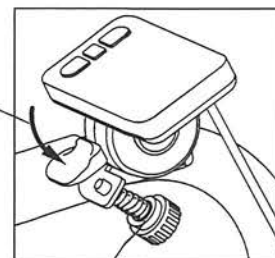
- アシスト走行中、高い段差や深みなどにはまり、スロットルを押したままタイヤが回転できない状態が2～3秒続くと保護機能が作動し、アシストが停止します。
スロットルを1度放すと復帰します。

5) 速度固定方法

ストッパーネジを調整し、スロットル押し切りでの速度固定
(微調整)が可能になります。

- ※ 必要に応じ、調整してください。
- ※ 速度調整の際は、目標速度に近いアシストレベルを使用してください。
- ※ 調整量が増す(スロットル押し込み量が減る)と、アシスト力が低下していきます。
- ※ 砂地や傾斜等では、平坦な整地に比べ、目標速度が出し辛い場合があります。その際はストッパーネジを下げ調整してください。

スロットル
押し込み



ストッパーネジ

6) その他の表示

-  : エラー発生時に点灯 ※エラーコード『1～9』の際はP.29【11. 故障と対策】をお読みください。
-  : 周期表示 (ODO→走行時間→TRP→最高速度→ を順番に自動表示)
-  : ODO (総走行距離)
-  : 走行時間 (累積時間)
-  : TRP (総走行距離) ※ODO 同様
-  : 最高速度 (走行時の最高速度) ※電源投入毎にリセットされます。

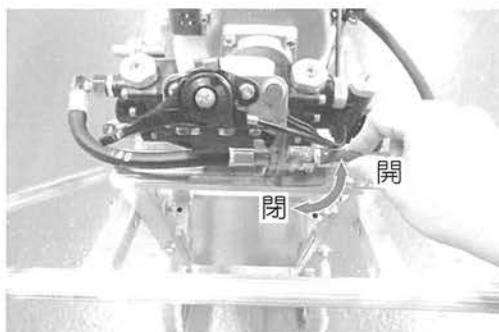
[M] ボタンを押す毎に、以下の順で表示が切り替わります。

『TRP』→『最高速度』→『ODO』→『走行時間』→『各表示を順番に自動表示』→ (以降繰り返し)

※テスト走行を行っておりますので、ご購入時に ODO、走行時間、TRP が「0」ではないこともあります。

7-6 : ボールコックの取り扱い

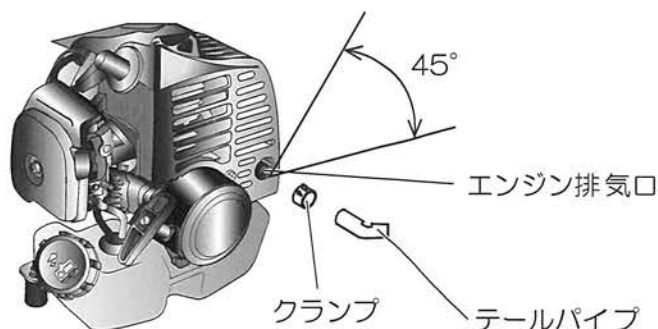
レバーの向きにより、開閉を行います。



7-7 : 排気方向の調整

本機はエンジンからの排気を製品本体や人体に向かないよう、エンジンの排気口にテールパイプを設けています。

「作業中にサイドカバーまたは作物に排気がかかってしまう」等の理由により、排気方向を変えたい場合は、テールパイプの向きを変えることができます。



◎排気方向の変更方法

テールパイプはエンジンの排気口に被せてあり、クランプによって固定されています。

クランプの羽根をラジオペンチなどで摘みながら、テールパイプをお好みの向きに変えます。

 注意		●排気方向によっては製品または人体に影響を及ぼす可能性があります。調整は上記のようにタンク側からみて右側に水平な向き～約45° 上までを目安としてください。
		●水平より高い向きにテールパイプを向けた場合、雨などの水がエンジン内部に入りやすくなります。使用中や保管には、より一層注意してください。
		●水平の向きにテールパイプを向けて、サイドカバーの位置を高くした場合、排気がサイドカバーにかかってしまう場合があります。サイドカバーの高さ調整を行う場合は十分注意してください。
		●運転後にはテールパイプは熱くなります。運転後に排気方向を調整する場合、テールパイプが十分冷めたことを確認してください。

7-8：薬液の調合、充填

- 1) エンジンが停止している状態で、調合した薬液を薬液タンクに充填します。
薬液タンクには、薬液が25ℓ入ります。
- 2) 薬液は、他の容器で調合してください。やむをえず薬液タンク内で調合する場合は、必ず最初に水を所要量の半分ほど入れてから農薬を入れ、残りの水を入れて希釈してください。

 注意	 ●防除・除草用薬品の散布、散水用途以外には使用しないでください。
	 ●強酸性の薬品・塗料・シンナー等は絶対に使用しないでください。
	 ●薬液の調合の際は、必ず薬品メーカーの指示に従ってください。調合が適切でない農薬は、作物を傷めるだけでなく、人体にも有害になることがあります。
	 ●薬液を入れ終わったら、タンクキャップをしっかりと締め付けてください。
	 ●薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
	 ●薬液を入れる前に、必ずエンジンは停止させ、レバーコックは必ず閉じた状態にしてから薬液を入れてください。

重要

- 薬液を薬液タンクに入れる際は、別の容器でよく攪拌して、必ず付属のストレーナ（コシ網）を通して入れてください。（薬液に異物やゴミが混ざっていると、故障の原因になります。）
- 土壌消毒剤、土壌薰蒸剤は、故障の原因になりますので、使用しないでください。

7-9：燃料の充填

 危険	 ●火災の恐れがありますので、燃料補給時は次の事項を必ず守ってください。
	 ●燃料は、エンジンを止めた状態で補給してください。
	 ●燃料補給時は、火気に充分注意してください。
	 ●高温部に燃料がかからないように補給してください。
	 ●燃料タンクの給油口一杯まで燃料を入れないでください。
	 ●燃料がこぼれたらきれいにふき取ってください。
	 ●燃料補給後、燃料キャップは確実に閉めてください。
	 ●燃料を充填後、本機を傾けると燃料が漏れる恐れがあります。本機は必要以上に傾けたり、落下させないでください。
	 ●燃料を充填後、自動車で運搬する場合は、燃料が漏れる可能性があります。自動車などで運転する場合は、必ず燃料を抜いてください。

重要

- 燃料は、必ず潤滑油混合ガソリンを使用してください。
- エンジンの性能を十分に引き出すため、使い初めの20時間前後は、オイルを多めに入れて（ガソリン：FC等級オイル=20：1）慣らし運転を行ってください。
- 燃料の混合は、本機の燃料タンクで行わず、必ず別容器を用いてください。
- 2サイクルエンジン専用オイルは必ずFC等級（JASO）以上をご使用ください。

8

バッテリー・充電器の取り扱い



●本バッテリーを充電する際は、必ず付属の充電器を使用してください。
付属以外の充電器は、絶対に使用しないでください。



●本充電器は、本バッテリーを充電する以外は、絶対に使用しないでください。

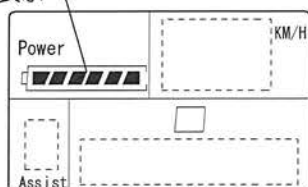
8-1 : バッテリーのチェックのしかた

1) LCD メーター

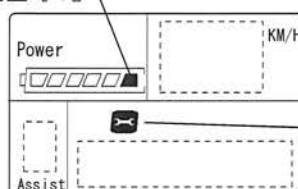
運転中は、LCDメーターのバッテリー残量表示で確認できます。

※バッテリー残量『1』が点滅の後、残量『1』とエラーマークが点滅になると、アシスト走行が出来なくなります。

バッテリー残量表示



バッテリー残量『1』



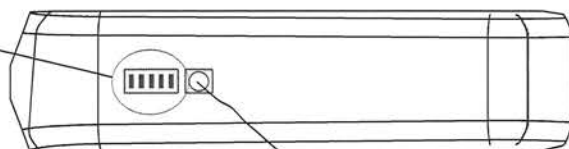
エラー

2) バッテリー本体

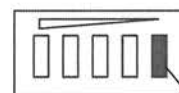
バッテリーのバッテリー残量確認ボタンを押すと、バッテリー残量ランプが点灯し確認できます。

※バッテリー残量『1』(赤)となると、アシスト走行が出来なくなります。

バッテリー残量表示



バッテリー残量表示ボタン



残量『1』(赤)

8-2 : 充電のしかた

- (1) バッテリーの充電口のゴムキャップを外し、充電器を接続してください。
- (2) 充電器の電源プラグを家庭用コンセント(100V)に差し込み、充電してください。

【充電器の表示】・・・赤：充電中 → 緑：充電完了

※バッテリー残量『1』(赤)から、充電完了まで、6.5時間程かかります。

※充電中、充電器の温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。

※連続して充電を行う際は、充電器が十分に冷めてから充電を行ってください。

バッテリー充電口

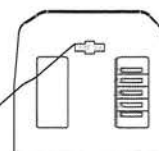


8-3 : バッテリーヒューズ交換

バッテリーのヒューズ交換をする際は、バッテリー端子面のゴムカバーを外し、交換してください。

※使用ヒューズ：車用ブレードヒューズ(30A, 32V)

ゴムカバー



8-4 : 充電器の使用条件

定格入力電圧	AC100V
入力周波数	50/60Hz
出力電圧	DC42V
使用時温度	0℃～+40℃
使用環境	屋内使用のみ

8-5 : バッテリー・充電器の取り扱い上の注意

1) 使用環境及び条件



- バッテリー・充電器を安全に使用するために、使用前に必ずこの取扱説明書に記載されている内容をよくお読みください。また、お読みいただいたあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。なお、取扱説明書が十分に理解できない場合は、販売店にご相談ください。
- このバッテリーと充電器は、本製品専用です。充電は、必ず付属の充電器を、指定された電源に接続し、正しく行ってください。他の製品・用途には使用しないでください。
- 水に漬けたり、水をかけたり、雨中にさらすなど、液体で濡らさないでください。また、湿気の多い場所で充電をしないでください。異常な電流、電圧でバッテリーが充電され、感電、漏液、発熱、破裂、発火する原因となります。
- 火やストーブなどの熱源の側や、直射日光の強い所、炎天下の車内などに放置したり、熱源の近くで充電を行わないでください。充電ができなかったり、異常な充電が行われたりして、バッテリーの発熱破裂、発火の原因になります。また、バッテリーを火の中に投入したり、加熱しないでください。バッテリーの破裂などによって内部の有機溶媒が飛散する原因となり危険です。
- 分解したり、改造しないでください。バッテリーには、危険防止のため保護装置が組み込まれています。分解・改造などによってこれらを損なうと、感電、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- このバッテリーには、内部のガスを放出するため、ガス抜き機構を備えていますので、気密性の高い容器などに入れないでください。バッテリーを破損させる原因になります。
- バッテリーに強い衝撃を与えたり、投げつけたりしないでください。バッテリーの漏液、発熱、破裂の原因となります。
- バッテリーや、充電器の接続端子部に金属類が接触しないように、ピンや針金、金属製のネックレス等と一緒に持ち運んだり、保管しないでください。また、ゴミを付着させないでください。バッテリーのショート、漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 濡れた手で、充電器の電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電子レンジや高圧容器に入れないでください。発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。



- 充電器の電源コードを引っ張ったり、電源プラグを破損するようなことはしないで、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。ケース、電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みが緩い時は使用しないでください。電源プラグは根元まで確実に差し込んでください。感電、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 電源プラグのホコリは、定期的にとってください。また、湿気やホコリの多い場所に置かないでください。感電、発熱、破裂、発火の原因となります。
- 充電器を使用するとき以外は、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。感電、ショート、発火の原因となります。
- 紙、ビニール、布類の上など、また、紙、ビニール、布類で覆うなど、放熱しにくい場所で充電しないでください。破損、発火の原因となります。



- バッテリーの空気口をふさがないでください。空気の風通しを妨げることにより、発熱、破裂、発火の原因となる可能性があります。
- 製品を使用しない場合、電池の残容量が無くなった場合、長期間製品を使用しない場合には、バッテリーを製品から外して、なるべく乾燥した冷所（ただし0℃以上）で保管してください。不意の始動でケガを負ったり、バッテリーを漏液させる原因となる恐れがあります。また、サビの発生やバッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
- バッテリーは乳幼児の手の届かない所に保管してください。また、ご使用時に乳幼児が、充電器や機器からバッテリーを取り出さないように注意してください。不用意な取扱は危険を伴います。



- 0～40℃の温度範囲で使用してください。この温度範囲外では、電池の漏液、発熱、破裂の原因となるおそれがあります。また、バッテリーの性能や寿命を低下させることがあります。
- 充電器が異常や不具合と思われたときは、直ちに電源プラグを電源から外してください。感電、発熱、発火の原因となります。
- 充電器に物を載せたり、落下しやすいところに置かないでください。充電器の破損、落下による感電、発熱、発火の原因となるおそれがあります。
- お買上げ後、初めてご使用場合にサビや発熱、その他異常と思われたときは、使用しないでお買上げの販売店へご相談ください。

重要

- 充電器の端子が汚れたときは、乾いた布で拭き、端子をきれいにしてからご使用ください。機器との接触が悪いと、電源が切れたり充電されなくなったりすることがあります。

2) 異常時の処置



- このバッテリーは、内部に有機溶媒を保持しています。このバッテリーの液が目に入ったときは、失明の原因となりますので、こすらずにすぐにきれいな水で充分洗ったあと、直ちに医師の治療を受けてください。また、このバッテリーの液が、皮膚や衣服に付着した場合は、皮膚に障害を起こす原因となりますので、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の治療を受けてください。
- 規定の時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火の原因となります。
- このバッテリーが漏液したり、異臭がしたり、変色・変形、その他今までと異なることに気が付いたときは、直ちに火気より遠ざけ、使用しないでください。漏液した有機溶媒に引火し、破裂、発火する可能性があります。

3) 異常時の処置

- ご使用済のバッテリーは、端子間をショートしないようにしてから、販売店へお渡しください。

9

作業

9-1：作業の前に



- 水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
- 薬液タンクに薬液を入れた状態で、自動車などで運搬しないでください。薬液が漏れる可能性があります。自動車などで運搬する時は、薬液を抜いてください。
- 作業中、作業後にめまい、頭痛を生じたり気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
- 薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液がでることがあります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
- 作業中に噴口部を清掃する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、必ずボールコックを閉じ、噴口部を取り外してから行ってください。
- 噴口の交換を行う際は、必ずボールコックを閉じた状態にしてください。

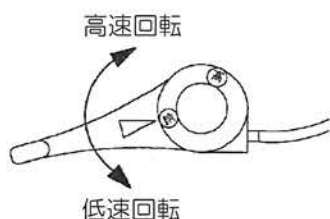
重要

- 薬液タンクに薬液、あるいは清水が入っていることを確認してください。薬液タンクが空の状態ではポンプの運転を続けるとポンプが焼付くことがあります。
- 冬季等、気温が低い状態で使用した場合は、連続運転時間が短くなったり、性能が十分発揮されない場合があります。

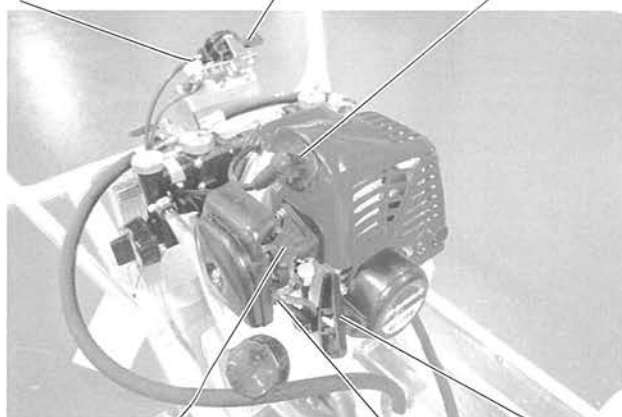
9-2：作業開始



- 噴霧作業以外の時は液漏れや、突然の噴霧防止のため、ボールコックは必ず閉じた状態にしてください。



エンジンストップボタン スロットルレバー スパークプラグ



チョークレバー プライマポンプ リコイルスタータ

(1) 始動（エンジンが冷えている場合）

- ①調圧弁ダイヤルを『始動：0』の位置に合わせます。
- ②スロットルレバーを、低速回転側（アイドル回転側）に合わせます。
- ③チョークレバーを『閉』の位置に合わせます。
- ④キャブレタのプライミングポンプを、指で4～5回押して、キャブレタに燃料を十分に送り込みます。
- ⑤本機が倒れないようにエンジンを手で押さえ、リコイルスタータを引っ張り、混合気をシリンダに送り込みます。改めて、リコイルスタータを引っ張るとエンジンは始動します。
※アシスト式リコイルの為、勢いよく引っ張る必要はありません。
- ⑥エンジンが始動したら、低速回転で1～2分間暖気運転を行います。暖気運転が終了し、スロットルレバーを低速回転側から高速回転側へ操作すると、チョークレバーは自動的に『全開』になります。

(2) 再始動（エンジンが暖まっている場合）

- ①運転停止直後に再始動するときは、チョークレバーを『全開』にして始動します。始動しない場合は、エンジンが冷えている場合の始動法を始めから行ってください。

重要

- リコイルスタータのロープは、いっばいに引ききらないでください。
- 引いたロープを手離さないで、静かにもとに戻してください。

(3) 初期吸水作業

作業開始前や薬液補充時には、ポンプ吸水作業が必要です。

- ①必ず調圧弁ダイヤルを「始動：0」の状態にします。
- ②ボールコックを開きます。（薬液が飛散する恐れがありますので、噴口の向きには充分注意してください。）
- ③スロットルレバーを高速回転側に操作し、余水ホースまたは吐出ホースから薬液が出るまでポンプを運転します。薬液が出ることを確認したら、速やかに吐出ホースのボールコックを閉じます。

重要

- 30秒経ってもポンプが吸水しない（余水または吐出ホースから薬液が出ない）場合は、直ぐにエンジンを停止し、P.27の【11.故障と対策】を参照してください。

(4) 散布作業

- ①調圧弁ダイヤルは『始動：0』『除草：1』の位置で『カチッ』と止まります。散布作業時は「除草：1」に設定してください。
- ②エンジン回転が安定する位置にスロットルレバーを調整してください。
- ③ボールコックを開いて散布作業に入ります。

始動：0
圧力 OMPa
モータ始動、または吸入開始時



除草：1
圧力 約1.0MPa
除草剤等の低圧噴霧時



*上記圧力は、噴口を閉じた状態での圧力です。噴霧時の圧力は、使用する噴口の吐出量によって変化しますので、ポンプ性能表を参照してください。

重要

- 遠心クラッチを使用しています。クラッチが滑るような低速回転での使用は避けてください。（クラッチが滑ると、薬液の吐出が不安定になります。）
- 作業中に噴霧を一時停止させる時は、ボールコックを閉じ、スロットルレバーを低速回転側に戻してポンプを停止してください。燃料の節約、エンジン、ポンプの耐久性向上に役立ちます。



- 薬品の吸入や付着による事故を防ぐため、帽子、保護眼鏡、保護マスク、ゴム手袋、長袖の保護衣、長ズボン、ゴム長靴を着用し、皮膚が露出せず危険のない服装で作業を行ってください。
- ハウス内での使用は人体に悪影響を及ぼす恐れがありますので、よく換気をしてください。
- 運転中および、停止直後のエンジン（マフラ等）は高温になっています。やけどをする恐れがありますので、不用意に触れないでください。

 注意	 ●水道、河川、水源地、池、沼、下水道などを汚染しないように、また、人体や散布対象物以外のものにかからないよう、風や周囲の状況に充分注意して作業を行ってください。
	 ●作業中、作業後にめまい、頭痛を生じ、または、気分が少しでも悪くなった時は、直ちに作業を中止し、医師の診察を受けてください。
	 ●薬液を入れた状態で薬液タンクや車体を傾けると、タンクキャップの空気穴から薬液が出ることがあります。薬液タンクや車体は傾けたり、落下させないでください。
	 ●作業中に噴口部を清掃または、交換する場合は、顔面等に薬液がかかる恐れがありますので、ボールcockを閉じ、必ず調圧弁ダイヤルを『始動：O』の位置に合わせて、噴口部を取り外してから行ってください。
	 ●ホース類は、エンジン高温部（マフラ等）に触れないで、無理な曲げ、よじれ、折れ引っ張りがないよう注意して作業を行ってください。
	 ●ホースの温度は、40℃以下で使用してください。40℃以上になりますと、耐圧性能が低下します。
	 ●タンクに薬液を入れた状態での後輪の組み替えはしないでください。転倒の恐れがあります。
	 ●散布作業を中断し、移動または放置するときは、不用意な散布等を防止するため、エンジンを停止してください。また突然の噴霧防止のため、ボールcockは必ず閉じた状態にしてください。

(5) 停止

- ①ボールcockを閉じます。
- ②調圧弁ダイヤルを、『始動：O』の位置に合わせます。
- ③スロットルレバーを、『低速回転側』に戻します。
- ④エンジンストップボタンを押して、エンジンを止めます。

重要

- 使用中に薬液が無くなったときは、速やかにスロットルレバーを低速回転側に戻し、エンジンを停止してください。
- ポンプの空運転は、故障の原因になります。作業中、整備点検中は問わずに、30秒以上は行わないでください。

(6) 使用後のお手入れと保管

- ①薬液タンク内の残液を排出します。
- ②薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転して噴口より吐出させ、ポンプ、ホース、ノズルパイプ及び、噴口を洗浄します。清水が吐出しなくなったら、速やかにエンジンを停止します。

 注意	 ●作業後は手足はもちろん、全身を石鹸でよく洗うとともに、目の水洗いとうがいをしてください。作業期間中は、衣服を毎日取り替えてください。
	 ●余った薬液及び、機械の洗浄水は、水道、河川、水源地、池、沼、下水道に流入して被害を及ぼさないよう、薬害のない方法で処分してください。
	 ●前回使用した薬液が、薬液タンク、ホース、動噴、噴口等の内部に残っていると薬害を起こす危険性があります。使用後は残っている薬液を十分に洗い流してください。
	 ●使用後は本機を充分清掃し、風雨や直射日光に当たらない、風通しの良い、凍結しない、子供の手の届かない、平坦な場所で保管してください。
	 ●エンジンを止めても、ポンプ～ホースに圧力が残っていることがあります。この状態で接続部を取り外すと、薬液が噴き出す恐れがありますので、接続部を外す前に周囲の状況を確認し、ボールcockを開いて、ポンプ～ホース内の圧力を抜いてください。

重要

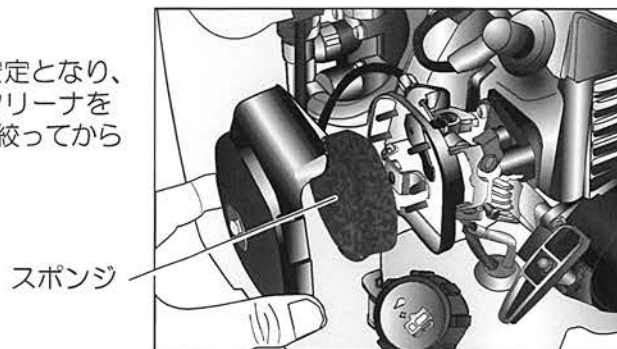
- タイヤ・ホイールの洗浄の際は、モーター部（ホイール中心部）になるべく水が掛からない様に注意して下さい。洗浄後は、速やかに掛かった水を拭き取ってください。
- LCDメーター、バッテリー、コントローラー部は、水洗いしないでください。万一、水が掛かってしまった際は、速やかに水を拭き取ってください。

10 整備と長期保管

* 日常のお手入れは、P.22【9-2：作業開始】P.24『(6)お手入れと保管』をご覧ください。
整備に関してのご不明な点は、お買い求めの販売店にご相談ください。

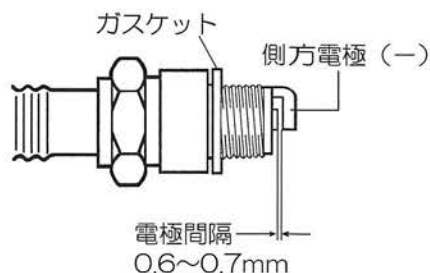
(1) エアクリーナ

エアクリーナ内のスポンジが汚れていると、吸気が不安定となり、エンジンの性能が十分に発揮されません。時々、エアクリーナを外し、スポンジをガソリンまたは、洗油で洗浄し、固く絞ってから取り付けてください。



(2) スパークプラグ

50時間の運転を目安に、スパークプラグの点検清掃を行ってください。ワイヤブラシ等でカーボン堆積物を除去し、電極間隔を0.6~0.7mmに調整します。著しい汚れ、欠損がある場合は、スパークプラグを新品に交換してください。指定スパークプラグは、チャンピオンCJ6Yもしくは相当品（NGK BPM7A等）です。



(3) 配管



注意



●タンク、ホース、接続部分に、ヒビ、割れ、漏れがないか確認します。異常がある場合は、速やかに交換してください。

(4) ポンプ内部のシール類

2年の使用を目安に、ポンプ内部のシール類の交換をお勧めいたします。シール類の交換については、お買い求めの販売店にご相談ください。

（補修パーツとして、ポンプパッキンセットが用意されています。）

(5) 長期保管

長期間（60日以上）に渡って本機を使用しないときは、次の事項を実施してください。

重要

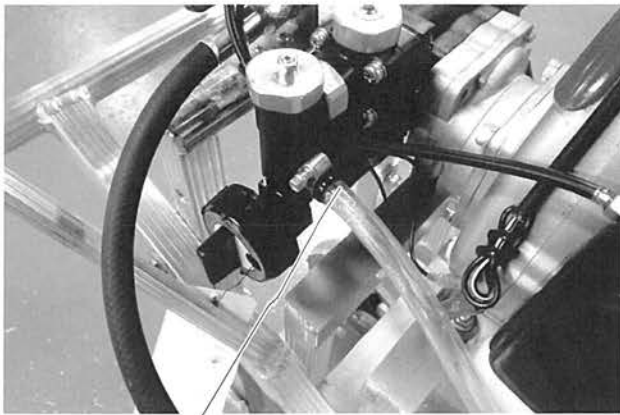
- 薬液タンクに清水を入れ、エンジンを運転して、ポンプやホースを洗浄してください。
- 冬期間の凍結防止のため、余水ホースと吐出ホース及び、吸水口ホースをポンプから外して、エンジンを運転し、完全に水抜きを行ってください。保管時は、上記ホースは外しておいてください。
- 燃料タンクの残留燃料を、完全に抜き取ります。燃料タンクを空にした後、プライミングポンプを数回押し、キャブレタ内の燃料も抜いてください。
- スパークプラグを外し、スパークプラグ孔から、4~5滴のエンジンオイルをシリンダに流し込みます。スパークプラグを付け、リコイルスタータを2~3度引いてオイルをシリンダ内に行き渡らせます。
- プラスチック部品は、直射日光にさらされると、著しく強度が低下する事があります。また、注意表示ラベルも変色したり、はげやすくなったりしますので、保管には充分注意してください。



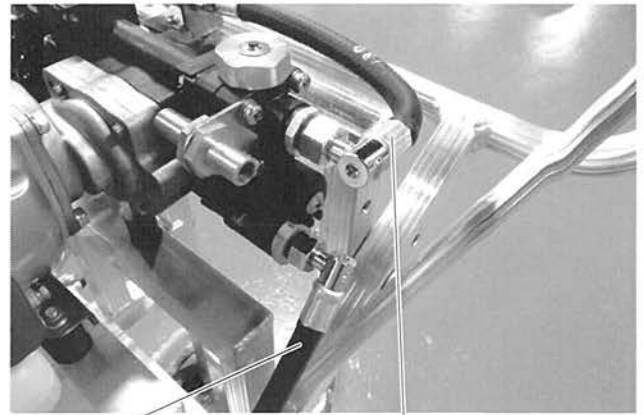
注意



●本体、エンジン、ポンプの外部を洗浄し、充分に乾燥させてからカバー等を掛け、屋内の直射日光が当たらず、風通しのよい、子供の手の届かない場所に保管してください。



余水ホース



吸水ホース

吐出ホース

【バッテリーについて】

重要

- 長期間（3ヶ月以上）使用しないときは、電動アシスト用のバッテリー残量ランプが、緑2～3灯で保管することを推奨します。
 - 3ヶ月に一度は、バッテリー残量ランプを確認し、緑2～3灯となるよう充電をおこなってください。
- ※リチウムイオンバッテリーの特性上、長期保管の際は、バッテリー残量30～60%での保管が推奨されます。
- ※残量ランプ：緑0灯…3時間程度、緑1灯…2時間程度を目安に充電を行ってください。

11

故障と対策

11-1：ポンプ

現 象	原 因	対 策
吸水しない	タンクに薬液がない	薬液を補給する
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※
	吸水ホースの詰まり	吸水ホースを外し、洗浄する
	吸水ホースの接続部のゆるみ	吸水ホースの接続部を締め直す
圧力があがらない または、安定しない	ポンプの回転数が低い	エンジンの回転数を上げる
	遠心クラッチのスリップ	※
	調圧弁の詰まり、または、摩耗、傷	※
	吸入弁、吐出弁にゴミが詰まっている	※
噴霧状態が悪い	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※
	圧力が上がらない	前述参照
	噴板穴の摩耗	噴板を新品に交換する
	噴口が不適切	ポンプ性能に合った噴口を使用する
液漏れ	ポンプ内部のシール類が摩耗または、損傷	※

ポンプ内部のシール類に関しては、補修パーツ（ポンプパッキンセット）が用意されています。
お買い求めの販売店にご相談ください。

11-2：エンジン始動不能、または始動困難

現 象	原 因	対 策
キャブレタまでガソリンが来ていない	燃料タンクに燃料がない	燃料を給油する
	プライミングしていない	プライミングポンプを4～5回押す
	燃料チューブの詰まり	燃料チューブの清掃、曲がりを矯正する
	燃料タンクキャップの通気穴の詰まり	燃料タンクキャップを清掃する
スパークプラグに火花が飛ばない	スパークプラグの不良	スパークプラグを新品と交換する
	スパークプラグが汚れている	スパークプラグをワイヤブラシ等で清掃する
	スパークプラグの電極間隔が不適	スパークプラグの電極間隔を0.6～0.7mmに調整する
	スパークプラグキャップ不良、または、スパークプラグコード断線	※
	点火装置不良	※
爆発の兆候がない	チョークの開きすぎ	チョークを閉じて始動する
	キャブレタの詰まり、または調整不良	※
スパークプラグが濡れている	チョークの閉じ過ぎ	スパークプラグを乾燥させ、チョーク全開で再始動する
その他	キャブレタのオーバーフロー	※
	マフラの詰まり	※
	燃料、オイルの不適切	規定の燃料、オイルを使用する

※印の不具合対策に関しては、お買い求めの販売店にご相談ください。
その他、不明な点は、販売店にご相談ください。

11-3：エンジンの回転不調、または出力不足

現 象	原 因	対 策
エンジンが異常に加熱する	燃料不適切	規定の燃料を使用する
	冷却不足	冷却風通路、シリンダフィンを清掃する
	スパークプラグ不良	清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	燃焼室にカーボンが堆積している	※
スパークプラグに飛ぶ火花が弱い	スパークプラグ不良	清掃、電極間隔調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
吸、排気系の不具合	エアクリーナが汚れている	エアクリーナを清掃する
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	マフラの詰まり	※

11-4：エンジン運転中に停止する

現 象	原 因	対 策
運転中、急停止する	ピストンの焼き付き	※
	スパークプラグの短絡	スパークプラグを清掃、電極間隔の調整をする
エンジン回転が次第に下がり、やがて停止する	燃料切れ、または、不足	燃料を給油する
	キャブレタの詰まり、調整不良	※
	燃料内異物混入	新しい燃料と交換する
エンジン回転が急激に上がり停止する	燃料切れ、または不足	燃料を給油する

11-5：エンジン停止が困難

現 象	原 因	対 策
エンジンストップボタンを押してもエンジンが停止しない	エンジンストップボタンのアース不良	配線の点検、交換をする
	スパークプラグ先端部の赤熱	スパークプラグの清掃、電極間隔の調整、交換をする 正規の熱価のスパークプラグを使用する
	ディーゼリング	※

※印の不具合対策に関しては、お買い求めの販売店にご相談ください。
その他、不明な点は、販売店にご相談ください。

11-6：電動アシスト関連

不 具 合 事 項		原 因	対 策
○電源が入らない。		●配線コネクタの外れ ●配線の断線 ●LCDメーターの故障 ●コントローラーの故障 ●バッテリーの故障 ●ヒューズ切れ ●バッテリーの電圧低下 ●バッテリー高温	◎コネクタを正しく接続する ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎ヒューズを交換する。交換後すぐにヒューズが切れるときは、販売店にご相談ください。 ◎バッテリーを充電する。 (充電しても改善しない場合は、バッテリーを交換する) ◎バッテリーを冷ましてから使用してください。 改善しない時は、販売店にご相談ください。
○電源が入るが走行しない。		●配線コネクタの外れ ●配線の断線 ●アシストレベル『0』 ●LCDメーターの故障 ●コントローラーの故障 ●バッテリーの故障 ●インホイールモーターの故障 ●バッテリーの電圧低下 バッテリー：残量『1』 赤 LCDメーター： 残量表示『1』+エラー表示 点滅 ●LCDメーター表示 エラーコード(1～9) ●速度調整の過多	◎コネクタを正しく接続する ◎販売店にご相談ください ◎アシストレベルを『1』以上にする ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎バッテリーを充電する (充電しても改善しない場合は、バッテリーを交換する) ◎コネクタを正しく接続する、 電源をON/OFFする、 上記内容を確認していただいても改善されない時は、販売店にご相談ください ◎速度固定のストッパーネジを上げ過ぎている(締め込み過ぎている) ストッパーネジを下げてください
充電時の 不具合	充電しない	●コネクタ電極の接続不良 ●配線の断線 ●充電器の異常 ●バッテリーの異常	◎接続端子が汚れている、または、異物が入っていないか確認し、汚れ、異物を取り除いてください 上記内容を確認していただいても改善されない時は、販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください ◎販売店にご相談ください
	充電はしているが 容量が回復しない	●充電時間の不足 ●バッテリーの過放電または寿命 ●充電器の異常	◎バッテリーを充電する ◎数回充放電を繰り返し好転しない場合は、バッテリーを交換する ◎販売店にご相談ください

製品保証書 (大切に保管してください)

この度は弊社製品をお買上げいただき、誠にありがとうございます。

弊社では、本製品を末永くご使用いただくため、保証業務を行っております。

1. 本製品は厳密な品質管理と検査を経てお届けしたのですが、万一保証期間内に、注意ラベル、取扱説明書の注意書きに従った正常な使用状態で故障した場合は、商品に本保証書を添えて、お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
2. 保証期間内でも次のような場合は有料修理になります。
 - ・ ご使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障、又は損傷。
 - ・ 火災、地震、風水害、雷、その他天災地変、塩害、公害や異常電圧による故障、又は損傷。
 - ・ 消耗部品（パッキン、Ｏリング等）の損耗交換時の部品代及び修理代。
 - ・ 保管状態が適当でない場合の故障、又は損傷。
 - ・ 本保証書のご提示がない場合。
 - ・ 本保証書の所定事項の未記入、あるいは字句を弊社の承認を得ることなく修正した場合。
3. 本保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
4. 本保証書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.

※本保証書に記載された内容のもとにおいて、無料修理を行うことをお約束するもので、本保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

※保証期間経過後の修理等についてのご不明な点は、お買上げの販売店にお問い合わせください。

※お客様にご記入いただいた保証書の内容は、保証期間内のサービス活動および、その後の安全活動のためにご利用させていただく事がございますのでご了承ください。

型 式
(MODEL)

EP-25WADX1

製造番号

保証期間

お買上げ 年 月 日より
1年間（但し、消耗品は除く）

お 客 様

フリガナ

お名前

ご住所 〒

TEL

取 扱 販 売 店

店名/住所/電話

修理メモ



株式会社 麻 場

本社／〒381-8530 長野市北長池 1443-2

TEL : 026-244-1317

URL : <https://www.asaba-mfg.com>